

防犯アプリ「みまもっち」利用を 夏の性犯罪防げ 久留米署が啓発

性犯罪が増加する傾向にある夏に合わせ、久留米署は9日、久留米市上津町の久留米工業大で学生と一緒に啓発チラシなどを配り、注意を呼びかけた。



防犯アプリ「みまもっち」の利用を呼びかける署員や学生

署によると、日没が遅い夏場は活動時間が長くなったり、長期休暇中に若者だけで行動する機会が増えたりするため、性犯罪などの被害に遭うリスクが高ま

る。被害を防ぐには、周りへの注意が散漫になる「ながら歩き」をしない▽夜間は明るい道を通る▽帰宅後はすぐに施錠する―ことが重要という。

この日はチラシを配ったほか、不審者情報の配信や防犯ブザー機能が付いた県警の防犯アプリ「みまもっち」の利用も呼びかけた。同署の永野裕幸生活安全1課長は「アプリも使いながら、防犯意識を高めてほしい」と話した。（杉野如海）